



有限会社美祢環境クリーン

エコアクション21

令和5年度環境経営レポート

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)



発行日：令和6年11月20日



目 次

	頁
[1] 環境経営方針	1
[2] 会社概要	2 ～ 3
[3] 実施体制（組織図）	4
[4] 事業内容	5 ～ 8
[5] 許可内容	9 ～ 1 0
[6] 処理実績	1 1
[7] 受託した廃棄物の処理量	1 1
[8] 環境負荷の状況	1 2
[9] 環境経営目標／実績・評価	1 3 ～ 1 4
[1 0] 環境経営計画	1 5
[1 1] 環境経営計画の取組結果と評価、 次年度の環境経営計画	1 6
[1 2] 環境関連法規制等の遵守状況	1 7
[1 3] 代表者による評価と見直し・指示	1 8

[2] 会 社 概 要

社 名 有限会社美祢環境クリーン

代表取締役 大谷 龍夫

所 在 地

[本店] 〒759-2222 山口県美祢市伊佐町伊佐2765番地9
TEL : 0837-53-1188 FAX : 0837-53-1155

[秋吉リサイクルセンター]
〒754-0511 山口県美祢市秋芳町秋吉5387番地1
TEL : 0837-62-0606 FAX : 0837-62-0616

E-M a i l mr.jhono@japan.email.ne.jp

H P <http://www.minekc.com/>

環境管理責任者 大田 庸補

連 絡 先 0837-62-0606

会社設立日 2002年8月8日 (平成14年8月8日)

資 本 金 300万円

事 業 内 容

事 業 活 動 内 容
一般廃棄物収集運搬事業
美祢市一般廃棄物収集運搬業務委託事業
美祢市一般廃棄物最終処分場・美祢市リサイクルセンター指定管理業務※
産業廃棄物収集運搬事業
便利屋<簡単な大作業、草刈、家解体ご相談、引越し、ゴミ片付け、何でも相談>
清掃<お部屋のお掃除、引越し掃除など>
金属くず回収業
古物商
資源リサイクル業

(※対象外サイト)

事 業 年 度 4月1日 ~ 翌年3月31日

事 業 規 模

	単位		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
売上高	百万円	対象事業	118	119	128
		(全体)	(192)	(209)	(292)
従業員	人	対象事業	17	19	22
		(全体)	(29)	(33)	(35)
床面積	㎡		1,406	1,406	1,406

運 搬 車 両

車両の種類	内容	台数
パッカー車	2 t 塵芥車	1 台
	3 t 塵芥車	3 台
トラック	2 t アームロール車	1 台
	3 t アームロール車	1 台
	4 t アームロール車	1 台
	3 t ユニック車	1 台
	2 t 深箱ダンプ	1 台
	2 t パワーゲート車	1 台
	2 t ダンプ	1 台
	3 5 0 k 軽トラックダンプ	3 台
軽自動車	3 5 0 k 軽バン	3 台

有 資 格 者

資 格 種 類	人 数
最終処分場技術管理士	1 名
破碎・リサイクル施設技術管理士	1 名
産業廃棄物収集運搬業許可講習会修了証	5 名
産業廃棄物処分業許可講習会修了証	1 名
一般廃棄物収集運搬・処分業者講習修了証	1 名
3 R 検定「3 R リーダーのたまご」	1 名
e c o 検定	1 名
遺品整理士	1 0 名

[1] 環境経営方針

基本理念

「循環型社会形成推進基本法」のもと、廃棄物処理業者として私たちには一般廃棄物・産業廃棄物の適正処理、資源のリサイクル推進という多くのテーマが課せられています。廃棄物は排出者やその種類によって様々な処理が多種多様に要求されるという高度な業務です。当社は、収集運搬や処理過程においてリサイクルの推進と適正処理を行うことで環境保全に努め、地域社会への貢献とその社会的責任を担う事業活動を行います。

行動指針

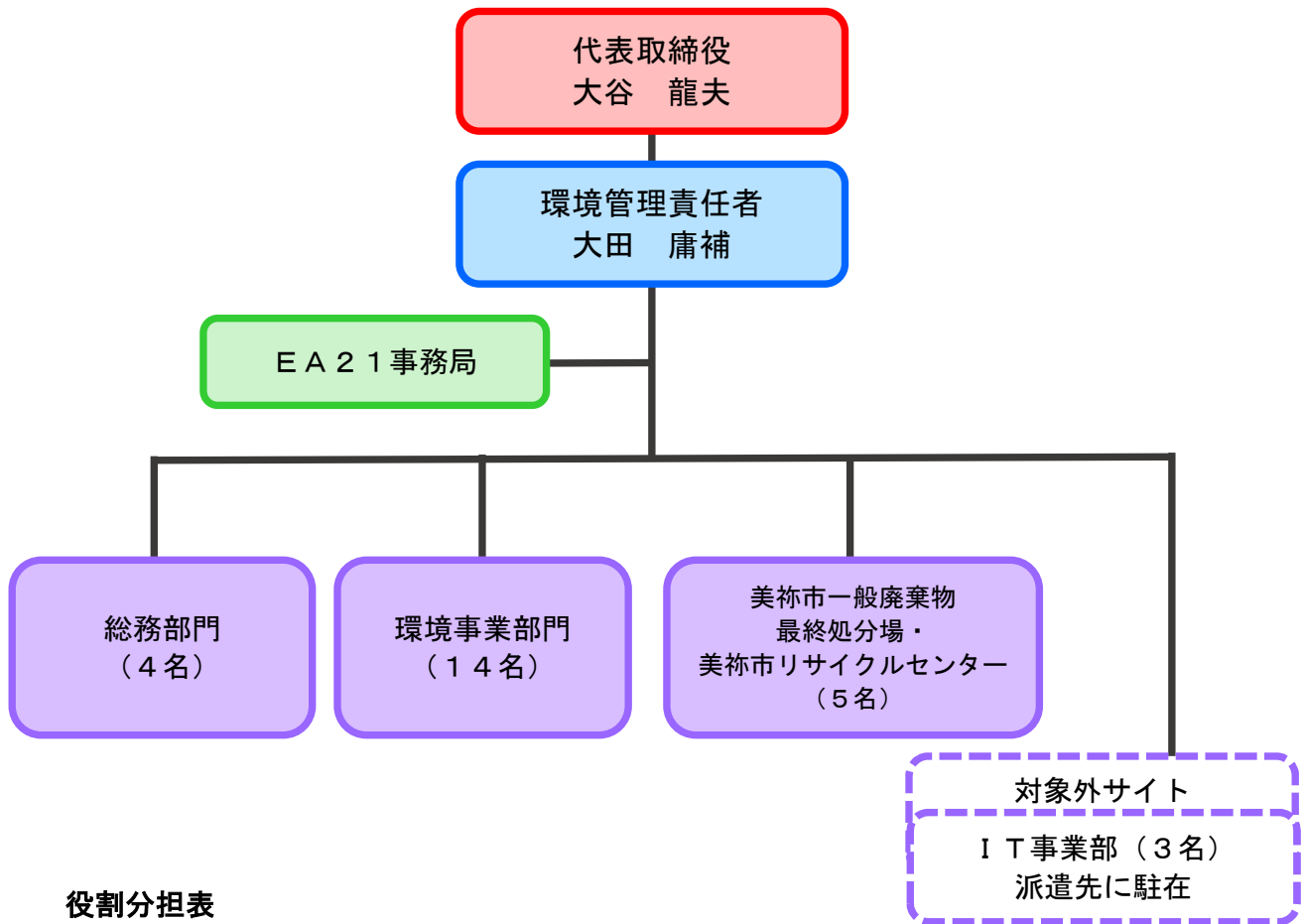
事業活動の実態を把握し、環境への負荷低減を目標設定するとともに、その活動計画を環境経営システムとして構築し、PDCAサイクルを運用し、環境経営の継続的改善を行います。その具体的な活動を以下の項目として定義し、重点的に取り組みます。

1. 取組事項
 - (1) 二酸化炭素排出の削減のため、エネルギー（電気、燃料）使用量削減に努めます。特に収集運搬車両ではエコドライブを実施します。
 - (2) リサイクル率の向上を推進します。
 - (3) 環境保全に適した技術の導入に努めます。
 - (4) 労働環境の改善に取り組みます。
 - (5) 重機・車両の取扱、清掃、点検を実施し、修繕コストを削減します。
2. 環境関連法規等を遵守し事業活動を行います。
3. 環境経営システムを全社員が理解し積極的に取り組み行動します。
4. 環境に対する社員の能力向上を図るため教育を実施します。
5. 地域や自治体関係機関との連携を図り、エコの啓蒙に努めます。
6. この環境経営方針は環境経営レポートとして社外へ公表いたします。



平成21年 9月 1日 制定
令和 4年 1月21日 改訂
有限会社美祢環境クリーン
代表取締役 大谷 龍夫

[3] 実施体制（組織図）



役割分担表

氏 名	所 属	役割・責任・権限
大谷 龍夫	代表取締役	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境事業部 東川一史	環境事業部	全体の把握を環境管理責任者とともに行い、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
環境管理 責任者 大田	環境事業部	環境目標の達成状況及び活動計画を策定して進行を管理する
井町	E A 2 1 事務局	E A 2 1 文書及び記録類の作成・維持・管理
井町	総務部	電力、水消費量の管理
大田	環境事業部	廃棄物の排出量管理、リサイクル率管理
大田	環境事業部	車燃料（ガソリン、軽油）、灯油消費量管理

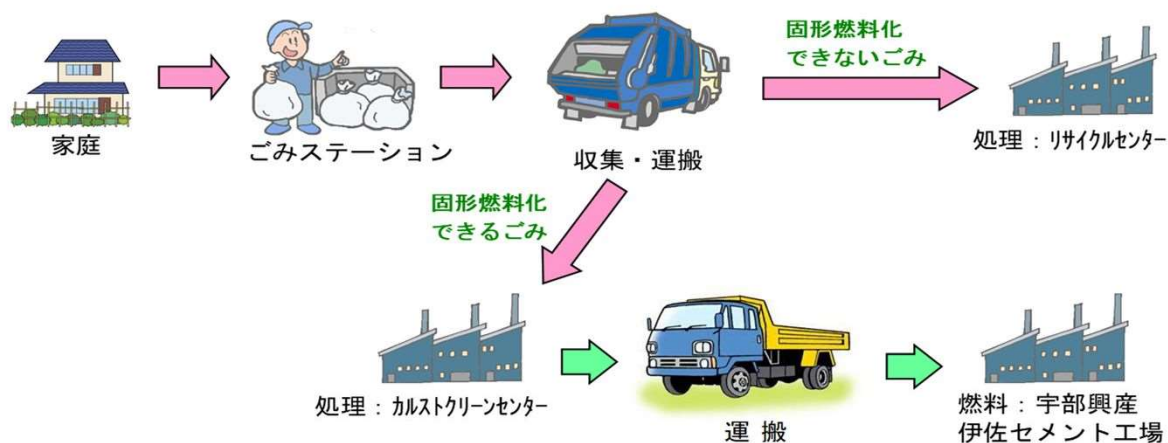
『全組織・全活動を認証・登録の範囲としている。ただし、美祢市一般廃棄物最終処分場・美祢市リサイクルセンターについては、指定管理業務であり、事業者の組織とはしていない。』

[4] 事業内容

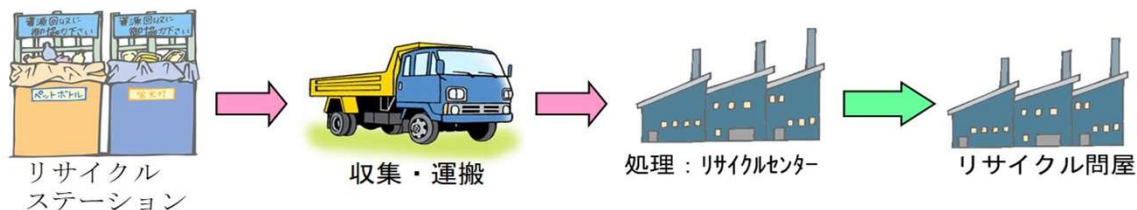
当社業務… → 他社業務… →

●美祢市一般廃棄物収集運搬業務委託事業

ごみステーションに集められた、可燃ごみと不燃ごみを収集運搬します。

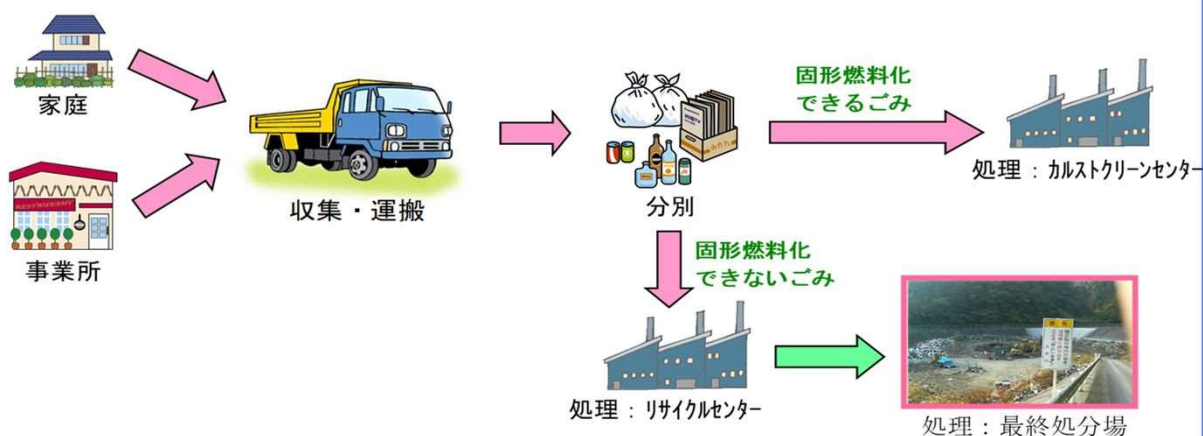


リサイクルステーションに集められた、ペットボトルと廃蛍光管を収集運搬します。



●一般廃棄物収集運搬事業

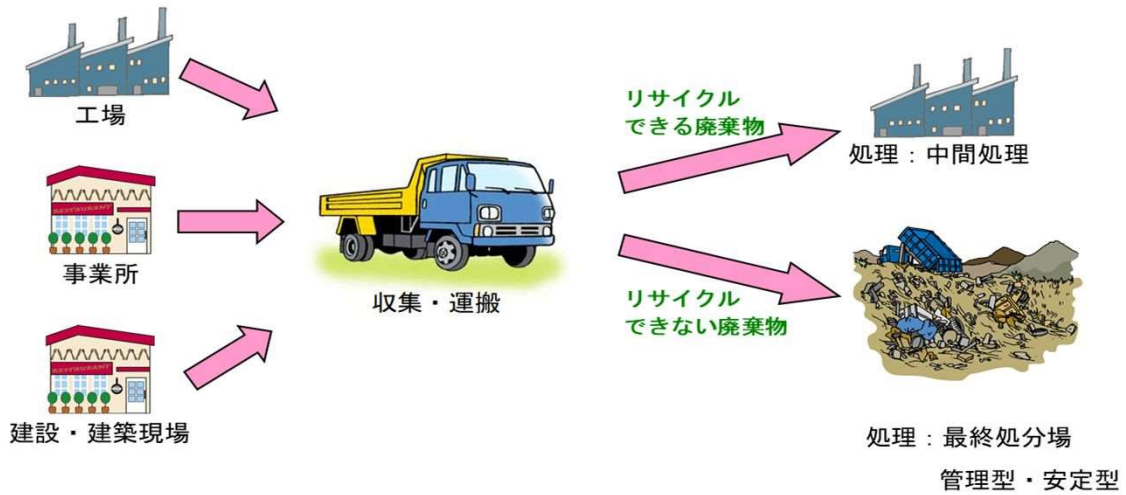
一般家庭や事業所から依頼を受け、ごみを収集運搬します。収集したごみは分別し、可燃ごみはカストクリーンセンターへ、不燃ごみは美祢市リサイクルセンターへ運びます。



●産業廃棄物収集運搬事業

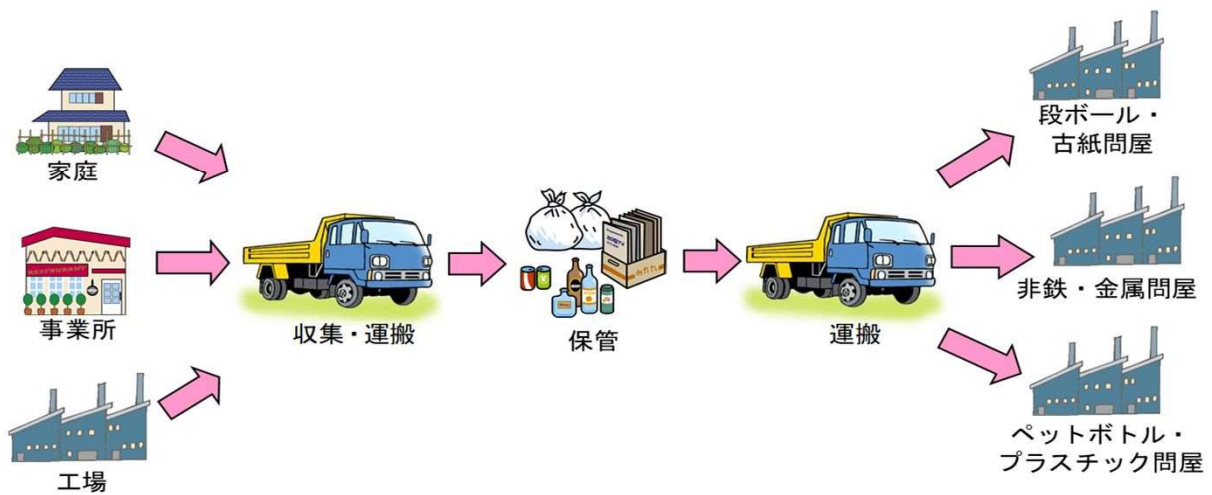
工場や事業所、建設・建築現場などから産業廃棄物の収集運搬をします。

リサイクルできる廃棄物は中間処理業者へ、リサイクルできない廃棄物は最終処分場へ運びます。

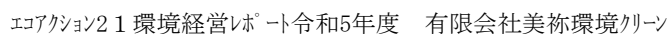


●資源リサイクル事業

家庭・事業所・工場などから収集した廃棄物を分別し、それぞれのリサイクル業者に運びます。

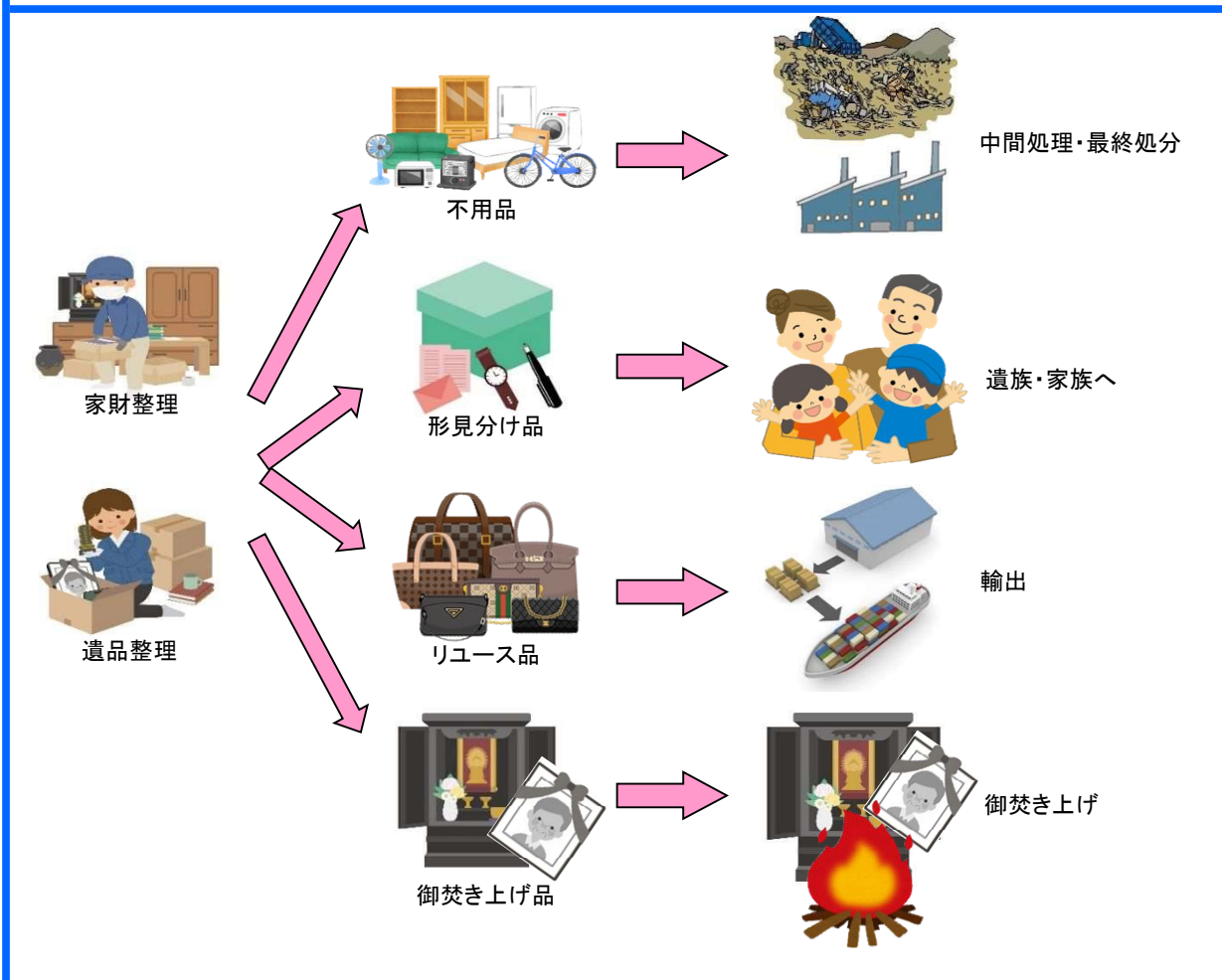


一般家庭や事業所などから排出された不燃物の処理を行います。
資源物は有価で売却し、資源にできないものは最終処分場へ埋め立てます。



●遺品整理・家財整理事業

故人様が残された家財や日用品等を不用品・形見分け品・リユース品・御焚き上げ品に仕訳し、残された品々すべてをお片付けします。



●美祢市清掃業務委託事業

美祢市役所・市民会館・図書館・勤労青少年ホーム・観光交流センター・エコミュージアム・人工の森・ジオパークセンター・秋吉台科学博物館の清掃をします。

[5] 許 可 内 容

《一般廃棄物収集運搬業》

許可番号	美祢市指令生 第5-9号	許可年月日	令和 5年11月 1日
		許可の有効年月日	令和 7年10月31日
事業区分	収集・運搬 積み替え又は 保管を含む。	事業の区域	美祢市内全域
廃棄物の種類	一般廃棄物全般（し尿及び浄化槽汚泥を除く）		

《一般廃棄物収集運搬業》

許可番号	指令第64号	許可年月日	令和 6年10月16日
		許可の有効年月日	令和 8年10月15日
事業区分	収集・運搬	事業の区域	山陽小野田市内
廃棄物の種類	一般廃棄物全般（し尿及び浄化槽汚泥を除く）		

《産業廃棄物収集運搬業》

山口県		許可番号		第03516101051号		
許可年月日	平成29年12月20日	許可の有効年月日		令和13年12月19日		
	優良認定 平成29年12月取得					
事業区分	収集・運搬（積替え又は保管を含む）					
積替え保管場所	所在地	山口県美祢市伊佐町伊佐 2 7 6 5 番地 9				
	面積	1 4 5 m ²				
	廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車等破砕物を含む。以上 3 種類）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、鋳さい、がれき類、ばいじん （これらは、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。） 以上 1 6 種類				
	保管上限	7 2 . 0 5 m ³	高さ	1 . 7 5 m		
	廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車等破砕物を含む。以上 3 種類）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、鋳さい、がれき類、ばいじん （これらは、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。） 以上 1 6 種類				

《古物商許可証》

山口県公安委員会		許可番号	第741191000023号
許可年月日	平成14年12月20日	許可の有効年月日	期限は設定されていない。

《金属くず類回収業許可証》

山口県公安委員会		許可番号	第2002119002号
許可年月日	平成14年12月20日	許可の有効年月日	期限は設定されていない。

[6] 処 理 実 績

当社の過去3年間の処理実績は以下の通りです。

	単位	令和3年度 (2021年度) (21年4月～22年3月)	令和4年度 (2022年度) (22年4月～23年3月)	令和5年度 (2023年度) (23年4月～24年3月)
産業廃棄物収集運搬量	t	108.06	117.74	221.84
一般廃棄物収集運搬量		286.16	301.32	280.78
一般廃棄物収集運搬量(委託)		2,110.67	2,081.42	1,974.66
合 計	t	2,504.89	2,500.48	2,477.28

※自社から発生した廃棄物のうちのリサイクル量(合計には含めない)

[7] 受託した産業廃棄物の処理量

当社の令和5年度の受託した産業廃棄物の処理量は以下の通りです。

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
収集運搬	紙くず		0.00
	繊維くず		0.00
	廃油		1.30
	ゴムくず		0.00
	廃石膏ボード		0.72
	金属くず		0.39
	ガラス・陶磁器くず		5.95
	コンクリート		17.16
	がれき類		11.12
	木くず		11.25
	廃プラスチック		16.90
	アスコンガラ		0.00
	石綿		0.00
	廃蛍光灯		0.13
	廃乾電池		0.07
	燃え殻		0.00
	混合		17.99
収集運搬量合計			82.98

〔 8 〕 環境負荷の状況

当社の事業活動に伴う過去 3 年間の環境負荷の状況は以下の通りです。

		単位	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
総物質投入量	資源投入量	t	0.06	0.06	0.06
水資源投入量	上水	m ³	102	124	220
温室効果ガス排出量	【二酸化炭素】購入電力	kg-CO ₂	13,722	15,077	15,271
	ガソリン	kg-CO ₂	12,067	18,739	32,033
	軽油	kg-CO ₂	86,649	85,953	118,820
	灯油	kg-CO ₂	627	702	523
	(合 計)	kg-CO ₂	113,065	120,471	166,647
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	37.7	66.5	83.0
受託した一般廃棄物の処理量	収集運搬量(委託)	t	2,110.7	2,081.4	1,974.7
廃棄物等総排出量	再生利用※ 1	t	13.7	34.7	95.8
	単純焼却※ 2	t	0.0	0.0	2.1
廃棄物最終処分量	最終処分量※ 3	t	2.7	16.6	41.0
総排水量	下水道	m ³	102	84	220

※ 1 自社から発生した廃棄物のうちのリサイクル量

※ 2 自社から発生した廃棄物のうちの単純焼却量

※ 3 自社から発生した廃棄物のうちの最終処分量

[9] 環境経営目標／実績・評価

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

評価 ○：達成 ×：未達成

環境経営目標 (単位)	H. 24年度 (基準年度)	R. 5年度 目標	R. 5年度結果	R. 6年度 中期目標	R. 7年度 中期目標	R. 8年度 中期目標
			実績（上段） 評価（下段）			
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /百万円)	1,303.9	1,251.7以下 (4%)	1,303.0 ×	1,251.7以下 (4%)	1,251.7以下 (4%)	1,251.7以下 (4%)
電気使用量 (kWh/百万円) ＜本店＞	293.3	90.1以下 (3%)	55.2 ○	90.1以下 (3%)	90.1以下 (3%)	90.1以下 (3%)
電気使用量 (kWh/百万円) ＜秋吉リサイクルセンター＞		191.5以下 (3%)	194.8 ×	191.5以下 (3%)	191.5以下 (3%)	191.5以下 (3%)
ガソリン使用量 (ℓ/百万円)	82.4	79.9以下 (3%)	108.0 ×	79.9以下 (3%)	79.9以下 (3%)	79.9以下 (3%)
軽油使用量 (ℓ/百万円)	352.3	341.7以下 (3%)	360.1 ×	341.7以下 (3%)	341.7以下 (3%)	341.7以下 (3%)
使用車両の省エネ化 (省エネ車/保有台数(%))	0	1以上	0 —	1以上	1以上	1以上
灯油使用量 (ℓ/百万円)	4.3	4.1以下 (4%)	1.6 ○	4.1以下 (4%)	4.1以下 (4%)	4.1以下 (4%)
受託廃棄物の リサイクル率の向上 (%)※	92.6	95.3以上 (3%)	96.6 ○	95.3以上 (3%)	95.3以上 (3%)	95.3以上 (3%)
自社発生廃棄物 (ton/百万円)	4.57	4.4以下 (3%)	1.07 ○	4.4以下 (3%)	4.4以下 (3%)	4.4以下 (3%)

環境経営目標 (単位)	H. 24年度 (基準年度)	R. 5年度 目標	R. 5年度結果	R. 6年度 中期目標	R. 7年度 中期目標	R. 8年度 中期目標
			実績 (上段) 評価 (下段)			
水使用量 (給水量) ($\text{m}^3/\text{人} \cdot \text{月}$)	0.8	0.8以下 (3%)	0.9 ×	0.8以下 (3%)	0.8以下 (3%)	0.8以下 (3%)
社内教育 (回/年)	2	5以上 (5回)	3 ×	5以上 (5回)	5以上 (5回)	5以上 (5回)
外部連携 (回/年)	1	1以上 (1回)	0 ×	1以上 (1回)	1以上 (1回)	1以上 (1回)

備考：・令和5年度の二酸化炭素総排出量：166,646.4kg-CO₂ 売上高は 127.9百万円でした

・ () 内%は、H. 24年度実績をベースとして削減率または向上率を示す。

・事業年度は「4月1日～翌年の3月31日」

・化学物質は使用していないため、環境経営目標は設けない。

・二酸化炭素排出係数 (令和元年度(2019年度)調整後排出係数)

< 本 店 > エフビット 0.468kg-CO₂/kWh (4月～9月)、エバーグリーン 0.432kg-CO₂/kWh (10月～3月)

<秋吉リサイクルセンター> 中国電力 0.585kg-CO₂/kWh (4月～8月)、Qエネストでんき 0.424kg-CO₂/kWh (10月～3月)

[10] 環境経営計画

● 二酸化炭素排出量の削減

電気使用量の削減	エアコン設定温度を決め、実行する
	昼休みの消灯
	残業時の不要な照明の消灯
	長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF
ガソリン使用量の削減	省エネドライブの励行
	アイドリングストップの励行
軽油使用量の削減	省エネドライブの励行
	リフト運転と搬送方法の見直し
	アイドリングストップ手順を決め、実行する
使用車両の省エネ化	ガソリン車は更新時に「平成22年度燃費基準達成車」以上の車両を導入する。
	ディーゼル車は更新時に「平成17年度燃費基準達成車」以上の車両を導入する。
灯油使用量の削減	暖房温度の適正管理

● 受託廃棄物のリサイクル率の向上

受託廃棄物の リサイクル率の向上	自らのリサイクル率向上の取組
	リサイクルしやすくするための処理の推進

● 自社発生廃棄物の削減

紙使用量の削減	ペーパーレス化の推進
	裏紙の利用

● 水使用量の削減

水使用量の削減	雨水の有効利用(花の散水、防火用水)
事務所における節水活動	蛇口の閉め忘れに注意する

● 社内教育と外部連携の実施

社内教育の実施	エコアクション21の理解、エコ行動の徹底教育
	一般・産業廃棄物収集運搬の教育
外部連携の実施	美祢市リサイクルセンター・最終処分場の見学、職場体験

[11] 環境経営計画の取組結果と評価、 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

評価 ○：良好 ×：不十分 □：検討中 △：未実施 —：該当事例無し

環境経営目標	取組結果	評価と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量削減の削減	×	目標達成できなかった。 取組は継続していたが、豪雨災害対応で通常業務以上の業務量の中での目標達成は難しかった。
電気使用量の削減	×	伊佐の事務所では昼間あまり人がいないため、年間を通して電気使用量を少なくすることができた。 秋吉では夏冬の電気使用量の目標達成は難しい。 今回は秋吉では、年間を通して目標達成することができなかった。
ガソリン使用量の削減	×	運転については今まで通り取組を継続できているが、今年度は7月から10月まで災害廃棄物の回収があったり、リフォームなど通常業務以外で車両を多く使う機会があったため、ガソリンと軽油使用量について目標を達成できなかった。
軽油使用量の削減	×	併せて二酸化炭素排出量も増加し、目標達成できなかった。
灯油使用量の削減	○	次年度もひとまず目標を変更せずに取り組んでいく。
使用車両の省エネ化	—	購入時には燃費基準達成車を導入するようにしている。
受託廃棄物のリサイクル率の向上	○	今年度は比較的最終処分場に運搬した廃棄物が多かったが、目標は達成することができた。 やむを得ない場合以外はリユース・リサイクルすることを、今後も心がけていきたい。
紙使用量の削減	○	意識しなくても取り組めるようになっている。 次年度も継続して取り組む。
水使用量の削減	×	普段から無駄遣いしないよう努めているが、在社時間が長くなると使用量が増加してしまう。 次年度も取り組みを継続していく。
社内教育の実施	×	目標達成できなかった。業務が多忙で時間を設けることが難しかった。 次年度は月1回の安全会議の中でエコアクションに関する教育を実施するよう取り組んでいく。
外部連携の実施	—	実績なし。

外部連携の実施(令和5年度の取組)

実績なし

〔 1 2 〕 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック結果

◆対象となる主な環境関連法規

法律名等	適用対象施設、設備、作業等	適用条項	定期的確認 遵守状況・判定
廃棄物処理法	一般廃棄物処理業	許可の取得及び更新・事業の範囲	美祢市：令和5年11月 1日(更新) 山陽小野田市： 令和6年10月16日(更新)
		変更の許可等	問題なし
		適正処理	問題なし
		収集運搬・保管の表示など	入口へ標識掲示済
		帳簿の作成及び保存	帳簿作成済
	産業廃棄物処理業	収集運搬車両の表示	作業時に表示
		収集運搬車・備え付け書類	毎回確認実施
		保管・積替え保管場所の表示	入口へ標識掲示済
		産業廃棄物管理票(マニフェスト)の送付及び回付	都度チェック実施
		産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	毎年報告実施済
		産業廃棄物管理票送付・回付	定期チェック実施
		産業廃棄物管理票の写しの保存	保管済
		産業廃棄物処理委託契約	遵守
		産業廃棄物処理委託契約書の保存	遵守
		産業廃棄物処理業等許可の取得及び許可更新、事業の範囲	山口県： 優良産業廃棄物処理業者認定 平成29年12月20日(更新) 下関市：許可証を返却 (廃掃法の改定による)
		産業廃棄物処理業等変更の許可	問題なし
		産業廃棄物処理業等における適正処理	遵守
		帳簿の作成及び保存	記録は随時実施している
家電リサイクル法	家電リサイクル対象品目	管理票の交付	遵守
		管理票の保管	遵守
山口県循環型社会 形成推進条例	産業廃棄物	条例 2 6 条第 1 項、第 2 項	許可証を毎回確認
	県外産業廃棄物	条例 2 6 条の 2	該当なし
		条例 2 7 条	該当なし
浄化槽法	浄化槽	設備届出及び使用廃止後30日以内の届出	遵守
		法定検査	毎年実施済
計量法	トラックスケール	法定検査	2年に1回実施

◆ 違反・訴訟等

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反の指摘及び利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありません。

〔 1 3 〕 代表者による評価と見直し・指示

令和5年度は、多くの項目で目標達成に至らなかった。

令和5年6月30日美祢市豪雨災害による河川の氾濫により美祢市は大きな被害を受けた。当社は美祢市との災害廃棄物協定により災害廃棄物の収集運搬、災害廃棄物の仮置場の管理運営業務を担当することとなった。そのため、7月から10月までの約4ヶ月間、通常の一般廃棄物委託収集及び一般廃棄物許可による収集に加えて災害廃棄物の収集に車両を使用したため車両の稼働時間が増加した。その結果、軽油及びガソリンの使用量が大幅に増加することになった。災害廃棄物の収集以外にも、新規に取り組んだリフォーム事業において車両を使う機会が増えたことも軽油とガソリン使用量を増加する要因となった。結果としては想定を超えた業務により燃料使用量の目標は達成できなかった。

その他のエネルギー使用量を見てみると、伊佐事務所の電気使用量は昨年度よりさらに350kWh減少したが、秋吉の使用量はおよそ3,500kWh増加した。また、水使用量も増加した。在社時間が長くなると電気・水の使用量は増加するので、なるべく残業しないようにするなどして在社時間をできるだけ減らすよう効率化に努めたい。

受託廃棄物のリサイクル率向上・自社発生廃棄物の削減については、どちらも目標達成できた。令和4年度に始めた海外リユース事業では、今期4回のコンテナ出荷を実施した。今まで処分場に運搬していた物でもリユースできるものがあり、今まで以上にリサイクル率を上げることができた。産業廃棄物については、受託した廃棄物の種類によっては目標達成できない月もあったが、年間を通しては目標達成することができた。

教育については目標達成できなかった。業務が多忙で時間を設けることが難しかったが、次年度は月1回安全会議を実施するスケジュールを組んで、その中でエコアクションに関する教育を実施するよう取り組んでいく。

総括すると、今年度は取り組みを始めて15年目の節目の年度として捉え目標達成を試みたが、様々な要因が重なって目標達成には至らなかった。変化の大きい時代だけに目標設定は難しいが、次年度も設定目標を確認しながらエコアクションへの取り組みを全社員一丸となって取り組んでいきたい。

有限会社美祢環境クリーン

代表取締役 大谷 龍夫